

いきいき

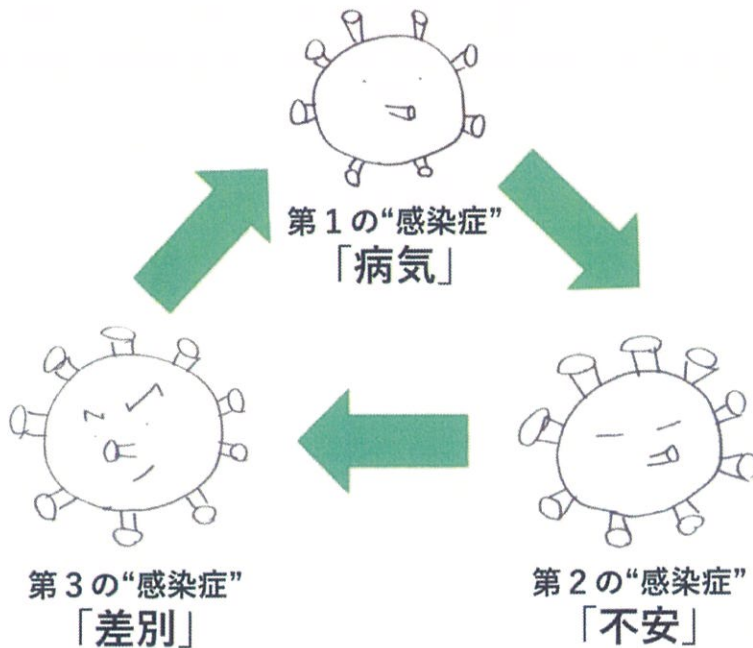
生涯学習だより『いきいき』

神流町教育委員会事務局

社会教育主事 坂本 哲也

新型コロナ3つの顔を知ろう!

ひとりひとりが気を付けないと
ワクチンはどうやって力をつけていくよ…



3つの「感染症」は
つながっている



出典「日本赤十字社」 http://jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~ より一部抜粋

第1の「感染症」は
病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。
感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。



第2の「感染症」は
不安と恐れです

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。
わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。
それらは私たちの心の中でふくらみ、**気づく力・聴く力・自分を支える力**を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

第3の「感染症」は
嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。
そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

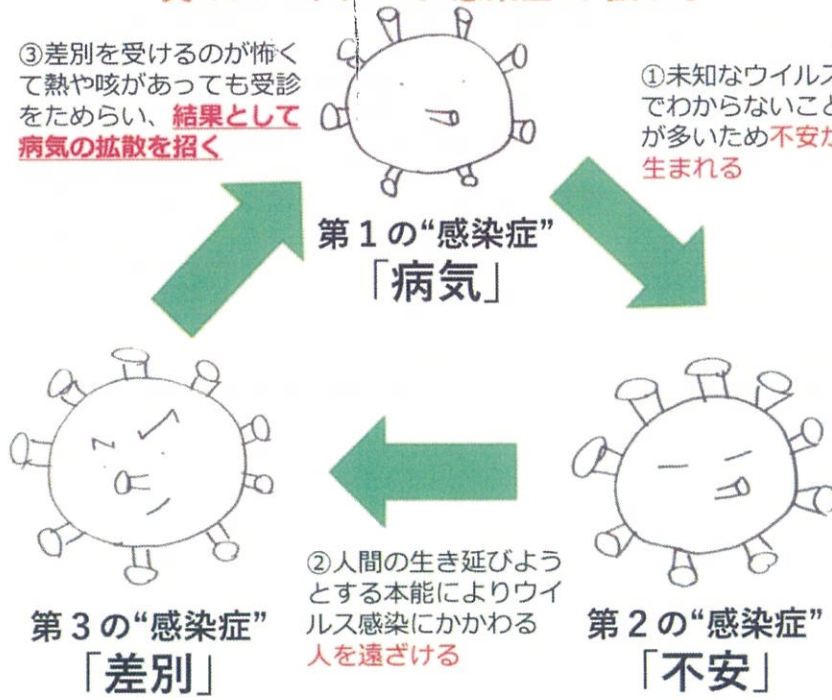
なぜ、嫌悪・偏見・差別
が生まれるのか

見えない敵(ウイルス)への不安
特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする
嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる



負のスパイラルで“感染症”が広がる

3つの“感染症”は
どうつながっているの？



この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。

第1の“感染症”を
ふせぐために



1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



第2の“感染症”に
ふりまわされないために



不安や恐れは私たちの

気づく力

聴く力

自分を支える力

を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



第3の“感染症”を
ふせぐために



不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

「確かな情報」を拡めましょう。

差別的な言動に同調しないようにしましょう。



第3の“感染症”を
ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

・小さな子どもがいる家庭

・高齢者

・治療を受けている人とその家族

・自宅待機している人

・医療従事者

・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を

ねぎらい、敬意を払いましょう。

『自分が感染させる側、差別する側になりたいと思っている人はいない。この緊急事態にみんなが我慢をしている。他を攻めることは負の連鎖を生む。だから正しい情報・正しい理解と言動で、自分も相手も守ることが大切なのだ』と感じました。坂

正しく確かな情報の収集のため、「日本赤十字社」及び以下のホームページもご参照ください

- ◇首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp>
- ◇厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ◇文部科学省ホームページ https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html
- ◇国立感染症研究所ホームページ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>